

卒業生、大学院修了生及び 退職される教職員の皆さんへ



新潟大学長
長谷川 彰

平成十八年の早春に新潟大学を卒業される皆さん、大学院を修了される皆さん、ならびに新潟大学を退職される教職員の皆さんに、心よりお祝い申し上げます。

卒業生ならびに大学院修了生の皆さんは、これまでの学究生活を通して、学問の深遠さと厳しさに触れられましたが、今後どのような道に進まれようとも、学問に対する真摯な姿勢を保持していただきたいと願っております。また、皆さんがこれまでに得た成果や、新しい発見に遭遇したときの感動を若い世代に伝えていただきたいと思います。

現代のように社会情勢が大きく変化し、このところ明るいきざしが見えたとは言え、依然として経済が低迷する時代にあつて、皆さんには、自らの専門とは異なる分野へも挑戦するたくましさを持っていただきたいと思います。このような勇氣は、新たな可能性を切り開く契機ともなり得

るものであります。常に新しい知識を吸収しながら、新しい価値を創り出し、自己を改革していく自律的な姿勢を持ち続けていただきたいと思います。

今後とも常に新しい知識を吸収しながら、
自己を改革していく自律的な姿勢を
持ち続けていただきたいと思います。

皆さんには、自信と誇りを持って、地域社会や国際社会における多様な場で活躍し、それぞれの立場で社会に貢献しながら、自立して生きる力を培っていただきたいと思います。また、社会に対する責任を自覚し、より高い公共性と倫理性を身につけ、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、さらには改善していく気概を持っていただきたいと願っております。

退職される教職員の皆さんは、永年にわたり新潟大学の発展にご尽力いただきました。五十嵐キャンパスへの統合移転、国立大学の法人化など、数々の局面において新潟大学を側面から支えてこられた皆さんに、あらためて深く敬意を表するとともに、心より感謝申し上げます。今後とも健康には十分に留意され、ますます充実した日々を過ごしていただきたいと思います。

法人化二年度を迎えて、国立大学法人評価委員会による初年度の活動に対する評価が実施され、非常に高い評価を得ることができました。また、これまでの改革推進に対しては、概算要求を通じて文部科学省からも多大な支援を受けることができました。これらの成果は、皆さんをはじめとし、本学の教員、事務職員等すべての構成員が一丸となって努力していただいた賜であると心より感謝いたしております。

国立大学法人という新しい制度の基盤を確固たるものにすべく、これからも不断の改善に努め、教育研究活動の質の向上を図らなければならないと考えております。また、学外の方々の意見に耳を傾け、より社会に開かれた大学を目指していきたいと思っております。今後とも教職員一体となり、これまでの取り組みを着実に軌道に乗せていきたいと思っております。

新潟大学は、これまで以上に社会からの理解と支援を必要としております。周到な準備期間を経て、いよいよ平成十八年四月に新潟大学全学同窓会が正式に発足する運びとなったと聞いております。卒業生と大学院修了生の皆さんにおかれましては、これからは同窓会活動などを通して、新潟大学を力強く支援していただきたいと願っております。また、退職される教職員の皆さんにおかれましては、新しい新潟大学の発展ぶりを温かく見守っていただきたいと願っております。

ここに人生の一つの区切りを迎え、新たに出発される皆さんに、あらためて心よりお祝い申し上げます。

時代の変化に合わせて
積極的に社会を支え、
さらには改善していく気概を
持っていただきたいと思ひます。